

総務省が取り組む「ビッグデータ時代に日本を支える次世代ICTリーダー育成」 高度ICT研修(実践的データ分析コース) 広島会場

総務省では、ビッグデータやクラウドサービスに代表される、ICTを高度に利活用して戦略を立案・実施できる「高度ICT人材」に着目し、同人材の育成を目的とした「高度ICT利活用人材育成プログラム(クラウド及びビッグデータ編)」を開発してきました。昨年度、企業のユーザ部門、経営層、情報システム部門の方々を対象とし、東京をはじめ全国5か所で開催した検証実験(研修コースのテストラン)では、幅広い立場の受講者から高い評価を得ることができました。

(※詳細は裏面をご参照ください)

一方、大学や専門学校など、高等教育におけるビッグデータ利活用人材の育成は、今後、社会に確実に求められる実践的なスキル・知識を、実業務に先がけて習得するという意味で非常に有効です。

そこで、本年度は、ビッグデータ利活用に関する講座やゼミをご検討の高等教育機関の皆様にも、実際に研修コースをご受講頂き、指導ポイントや運用上の留意点など、開催ノウハウを移管するための高度ICT研修を企画いたしました。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

開催日程	平成27年1月10日(土)～11日(日) 9:45～17:45(両日) ※申込締め切りは、平成26年12月24日(水)になります
会場	広島市まちづくり市民交流プラザ マルチメディア実習室 広島市中区袋町6番36号
定員	20名程度
受講対象	大学や専門学校において、ビッグデータ利活用に関する講座をご検討されている教員の方
目標	<ul style="list-style-type: none"> 組織の中でビッグデータ利活用を推進するために必要な知識・スキルを習得する 研修コースの指導ポイントや運用上の留意点について理解する
参加費	無料
事業関係者	主催：総務省（事業請負者 日本サード・パーティ株式会社） 協力：総務省 中国総合通信局
事業紹介ページ	http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/joho_jinzai/
お申し込みページ	http://www.jtp.co.jp/service/ict/course/index.html
お問い合わせ先	日本サード・パーティ株式会社 担当：古川、津田、大和田 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14階 TEL.03-6408-2488(代表) FAX.03-6859-4797

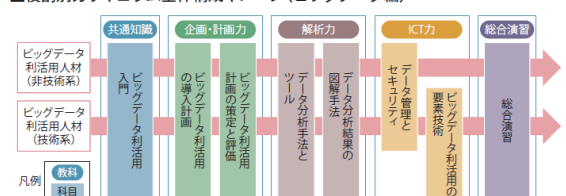
日程	アジェンダ	学習項目
1 日目	1. ビッグデータ利活用入門	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの特徴 ビッグデータ利活用の効果 ビッグデータを支える技術 法的に気を付けること
	2. ビッグデータ利活用の導入計画	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ利活用の流れ データの棚卸し ビッグデータ利活用での体制と役割 ビッグデータ利用事例の読み解き
	3. ビッグデータ利活用計画の策定と評価	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ利活用におけるビジネス展開 ビジネス展開(運用)でのポイント 全社へ普及するための仕掛け
	4. データ分析手法とツール	<ul style="list-style-type: none"> 目的にあったデータ分析を選ぶには 全体像を把握する分析手法 比較して判断する分析手法 仮説検証を使った分析手法 知識を発見する分析手法 データ分析とICT
	5. データ管理とセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> データ管理 ビッグデータとセキュリティ
2 日目	6. データ分析結果の図解手法	<ul style="list-style-type: none"> 数値データの可視化手法 分析結果の図解による効果
	7. 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの導入と運用(ケーススタディ) データ分析と意思決定(BIツール実習)

【アクセスマップ】

JR広島駅南口より徒歩15分
広島電鉄市内電車「袋町」電停より徒歩約3分

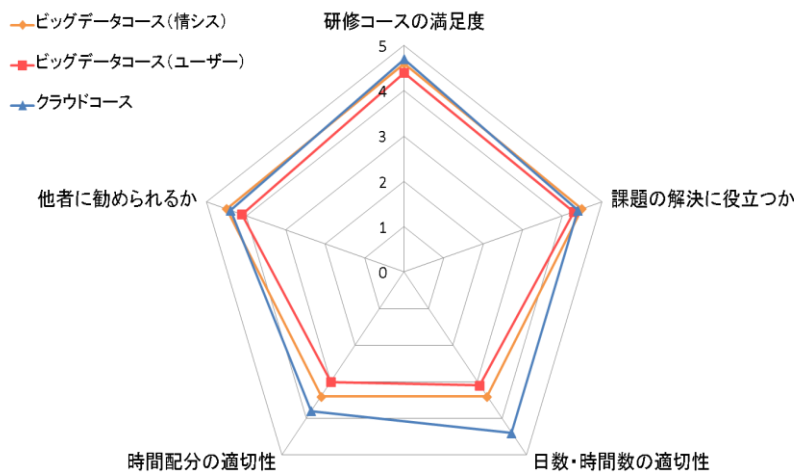


■役割別カリキュラム全体構成イメージ(ビッグデータ編)



※アジェンダは、若干変更する場合がございますのでご了承ください

昨年度 受講者アンケートの結果



- ◆ メーカー、サービス、医療、教育、金融、運輸、小売など、幅広い業種の方が受講され、産業分野問わず、ビッグデータに関する高いニーズが確認できました
- ◆ 研修では、組織内への定着・展開方法など、大企業、中小企業に共通するポイントを理解していきます
- ◆ 受講生の86%が、「自社でビッグデータ利活用を検討している」「一部の部門で開始している」と、多くの企業がビッグデータ利活用に関心があることが確認できました
- ◆ 受講生の62%が、経営者やマネージャーとして活躍されている方でした

昨年度 受講者の声

昨年度、研修コースを受講された方から頂いたコメントをいくつかご紹介します。今年度も、ビッグデータに関する教材によって検証コースを開催し、検証を行います。皆様のご参加をお待ちしております。



○旅行代理店 / 経営企画

会社の売上げを上げたい。BIツールを導入しているが、何をどう使っていけばいいかが分からなかった。こう使えばいいという発見があった。会社でデータの相関をみたり、数値データをつかって経営にアピールしていきたい。



○自治体 / 学校・教育・研究機関

分量も進みも早く大変でした。帰ってから自分で調べたいと思った。データを活用していこうというミッションを組織で与えられているがどうしたらよいか悩んでいる。小さな分析でもやってみて、みせると興味がわくし、意見も出る。スモールスタートでもはじめて、周りを巻き込んではじめていけたらという、気付きをもたらった。



○大手製造メーカー / 経営企画・事業(製品・サービス)開発部門

データの企画段階のプロセスがわかったことが収穫でした。分析データからどう読み取るかを訓練していきたい。会社に戻って、小さな事例からはじめて、ゆくゆくは全社を巻き込んでやっていきたい。



○出版会社 / 情報システム部門

独学で学んできたことが体系立てられて学べた。ワークショップが一番よかった。あらゆる業種で経験を積まれた方から意見をいただいた。自部門から始めたい。



○IT企業 / マーケティング部門

組織のあり方も大変参考になった。グループワークのケース題材に、WEBショップが含まれていて、社でも検討課題だったので参考になった。自社で、こういうことを勉強してきたと、小さい勉強会をしたらいいと思った。